

## 陳 情 文 書 表

平 2 4 陳 情 第 1 2 号	平成 2 4 年 8 月 3 0 日 受 理
件 名	浜岡原子力発電所の廃炉を検討するよう国に意見書の提出を求める陳情
陳 情 者	<p>秦野市鶴巻南 5 - 8 - 4 - 7 1 6 ♪  「脱原発グリーンパレード in はだの」を歩く会 ♪  代表 中村 雅彦 ♪</p> <p>秦野市渋沢 2 0 9 8 ♪  丹沢・未来プロジェクト ♪  代表 栗原 孝司 ♪</p> <p>秦野市名古屋 3 7 6 - 8 ♪  秦野の自然と環境を守る会 ♪  代表 山本 とし子 ♪</p> <p>秦野市曲松 1 - 8 - 5 0 ♪  丹沢やすらぎの会（神奈川県原爆被災者の会秦野支部）  会長 廣石 嘉乃 ♪</p> <p>秦野市栄町 2 - 3 ♪  全日本年金者組合秦野支部 ♪  支部長 菅原 明 ♪</p> <p>秦野市曾屋 5 7 0 5 ♪  神奈川県地域人権運動連合会秦野支部 ♪  支部長 鹿島 きく江 ♪</p> <p>秦野市弥生町 6 - 4 0 ♪  新日本婦人の会秦野支部 ♪  支部長 大塚 トモ子 ♪</p> <p>秦野市尾尻 9 3 8 - 5 ♪  秦野市平和委員会 ♪  副会長 山口 正</p>
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>2 0 1 2 年 7 月 5 日 に 国 会 に 提 出 さ れ た 、 東 京 電 力 福 島 原 子 力 発 電 所 事 故 調 査 委 員 会 （ 以 下 「 国 会 事 故 調 」 と い う 。 ） の 調 査 報 告 書 に は 「 平 成 2 3 （ 2 0 1 1 ） 年 3 月 1 1 日 に 起 き た 東 日 本 大 震 災 に 伴 う 東 京 電 力 福 島 原 子</p>	

力発電所事故は世界の歴史に残る大事故である。そして、この報告が提出される平成24（2012）年6月においても、依然として事故は収束しておらず被害も継続している。」と記されています。

そうした状況の中で、静岡県御前崎市の浜岡原子力発電所は、2011年5月、菅前政権の大英断により稼働が停止されました。その理由は、東海地震の想定震源域に立地しており、東海地震のみならず東南海地震、南海地震の三連動地震の発生が危惧され、最も危険な原子力発電所であると判断されたからです。

中部電力及び政府は、堤防築造等の津波対策を施すことにより、浜岡原子力発電所を再稼働させるとの考えを示していますが、国会事故調の調査報告書にも「事故の主因を津波のみに限定するべきではない」とあるように、再稼働による事故の不安がそれだけで払拭されるわけではありません。

また、超党派の国会議員でつくる「原発ゼロの会」が2012年6月28日に発表した「原発危険度ランキング」の中で、浜岡原子力発電所3、4、5号機（1、2号機は2009年1月に運転終了）は活断層・地震等の危険度が特に高い原発であるとし、即時廃炉にすべきものとされています。

さらに、浜岡原子力発電所で事故が起こった場合、風向き次第では本市も取り返しのつかない大惨事に見舞われる危険性があります。

これらの諸点を踏まえ、貴議会におかれましては、本陳情の趣旨を御理解の上、秦野の未来を担う若い世代のために次の事項について国に意見書を提出されることを切に要望します。

#### 陳情事項

- 1 地震による事故が最も危惧される浜岡原子力発電所は、再稼働させず、廃炉に向けて検討するよう求める意見書を国に提出すること。